



# 期末テストウィーク

9日(木)、10日(金)の2日間、神町中には「シケンダゾー」という怪物がやってくる。あわてふためいている君たちを救うため、正義の味方「テスト戦隊ヒャクテンジャー」がやってきた。彼らは、神町中学校の生徒が中間試験で100点満点を取るために、メッセージを残していった。決戦の日は近い！君は「シケンダゾー」を倒せるか！

- 1 「わからない」をなくせ！ 分からない部分をそのままにしておくな。辞書や教科書などでしっかりと調べよう。「わからない」が「わからないまま」になっていると危険だ！
- 2 「わかる」を徹底的に！ 「わかる」ものはさらに徹底して完璧にせよ！ 答えだけでなく、解法の途中も大切にしなければいけない。きちんと正確に書けるか。他人にわかりやすい言葉で説明できるか。ここまで精度を上げなければ危険だ！
- 3 「できなかった」を繰り返せ！ 「できなかった」、「わからなかった」ところは、何度も何度も繰り返し覚えろ。細部に至るまで徹底的にやれ。一度にたくさん覚えるのは大変だから、短いスパンで区切って覚えると効果的だ。わかるまで繰り返さないから、窮地(きゅうち)に追い込まれる！
- 4 「ドリカムたいむ」を大事にせよ。1年3組の朝の黒板には、『「ドリカムたいむ」では、たくさんの質問を待っている。「聞く」⇒「教える」⇒「バンザイ!』と書いてあった。わからない所をいっぱい質問し、わかる所をいっぱい増やし、期末テストを迎えるべし。



1年生の理科では、期末試験に先がけてパフォーマンステスト「ガスバーナーのつけ方・消し方の手順」が行われていた。柴田康平くん(1年4組)は、「安全に気をつけてパフォーマンステストに臨みました。ガスバーナーを消すところが、うまくできませんでした。」と残念そうに話していた。菅原先生(理科)によると、「ガスバーナーを消す時の手順が難しかったようです。空気を止めてから火を消すのですが、あわててしまい、一気に火を消していた生徒が多かった。」と、感想を話していた。



## 【練習試合より】

3年生最初で最後の試合で、今まで勝てなかった楯中に勝つことができた。何よりも3年生全員で一緒にプレーができて、楽しかった。後輩たちには、新人戦に向けて練習を頑張ってもらいたい。私たちも、最後まで部活を楽しみたい。

(女子バスケット部 東海林恵愛)